

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		準決勝				
日時	2019年12月28日（土）		10:20 ~			
会場	小樽市総合体育館Aコート					
結果	<p>清田 札幌</p> <p>63</p>	<table style="border: none;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center;"> 16 — 11 11 — 14 22 — 4 14 — 16 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table>	}	16 — 11 11 — 14 22 — 4 14 — 16	}	<p>八雲 函館</p> <p>45</p>
}	16 — 11 11 — 14 22 — 4 14 — 16	}				

第34回北海道中学校バスケットボール新人大会



【戦評】

「1Q」 清田④⑤⑥⑦⑧、八雲④⑤⑦⑩⑫でスタート。どちらのチームもなかなかシュートチャンスを活かせない中、清田⑥のドライブから得点、清田④が立て続けにレイアップを決め、開始2分39秒で八雲が最初のタイムアウト。八雲⑩のミドルシュート、清田④⑤の3P、八雲⑦の3Pと、一進一退の展開で1Qを16-11で終了。

「2Q」 1Q同様、一進一退の展開は続くが、清田の粘り強いDEFからタフショットが多くなった八雲は、徐々に苦しい展開になり残り2分05秒で前半2回目のタイムアウト。八雲⑩のバスカン、八雲⑤のゴール下シュート、八雲⑩のバックカットからのレイアップなど連続得点で逆転し、この試合初めてリードするも、終了間際の清田⑦の3Pで再び清田がリードし、27-25で前半が終了。

「3Q」 前半の重い展開が一転、清田④を中心にオフェンスのテンポがアップし、スティールからの連続得点で一気に差が開く。流れを切りたい八雲はタイムアウトを取るが、清田⑦のスティールからのレイアップなど連続15得点され、残り3分58秒で後半2回目のタイムアウト。厳しいDEFから走る展開で着実に得点した清田が差を広げ49-29で3Q終了。

「4Q」 得点が止まっていた八雲が、八雲④の気迫あふれるDEFから2回連続24秒バイオレーションを誘発させ、OFでは八雲⑤を中心としてゴール下で得点し、最大22点あった点差を一気に11点差までつめた。しかし、清田の連続得点があり残り56秒で3回目のタイムアウト。最後まで冷静にゲームを進めた清田が63-45で勝利した。なかなかシュートが決まらない苦しい中でも、果敢にゴールを狙い続けた両チームの健闘を讃えたい。

記録 小樽地区バスケットボール協会U15部会 上杉 和典